**要件定義書**

**目次**

**1全体……………………………………………………………………………………………...1**

**1-1システム開発の背景・趣旨…………………………………………………………… 1**

**1-2システムの目的………………………………………………………………………… 1**

**1-3システムの全体像・開発方針・展望など…………………………………………… 1**

**1-4用語の定義……………………………………………………………………………… 1**

1. **システム要件…………………………………………………………………………………1**

**2-1要件一覧………………………………………………………………………………… 1**

**2-1-1 システム要件一覧………………………………………………………………….1**

**2-1-2 業務要件一覧……………………………………………………………………… 1**

**2-2 機能要件…………………………………………………………………………………1**

**2-3 非機能要件………………………………………………………………………………1**

1. **全体**
   1. **システム開発の背景・趣旨**

店舗で行われる在庫管理の作業にかかる負担を、アプリケーションの開発によって解消することで、店舗の利益に貢献する。

* 1. **システムの目的**

在庫管理に纏わる日々の作業をシステム化することにより、業務の効率化を図る

* 1. **システムの全体像・開発方針・展望など**

　店舗側が登録した品物を画面に表示し、在庫の管理を効率よく行えるようにする。また、発注や検品といった作業も、機能として付随させる。全ての作業は、画面上のボタンや入力欄を用いることで、シンプルかつスムーズに行えるようにする。

* 1. **用語の定義**

|  |  |
| --- | --- |
| 用語 | 説明 |
| 店舗 | システムを受注した外食店舗を簡略化した呼称のこと。 |
| 補填 | 発注の際、不良品や欠品があった場合に、新たに近隣から品物の購入を行うこと。 |
| ロス率 | 仕入れ値における、廃棄や誤注文などによって生じた原価の割合。 |
| 平均使用数 | 曜日毎に登録された消費在庫数の平均値のこと。 |
| 廃棄数 | 賞味期限が切れている、または誤注文によって届いたため、使用不可となった品物の数のこと。 |
| 仕入れ値 | 発注した品物にかかる原価を合計したもののこと。 |

1. **システム要件**
   1. **要件一覧**

**2-1-1 システム要件一覧**

|  |  |
| --- | --- |
| システム名（要件名） | 説明 |
| 品物の登録 | 品物の情報を入力して登録を行うと、その品物の情報を管理できるようになる。 |
| 在庫数の入力 | 登録された品物の在庫数を入力することで、その時の日付と在庫数が更新される。平均使用数から、その日の在庫不足数が算出される。 |
| 発注数の入力 | 店舗側が発注したい品物の数を入力すると、その日の日付と発注数、店舗に品物が届けられる目安となる日付が表示される。 |
| 品物の検品 | 店舗に届いた実際の品物の数を入力し、予定数との差異がないかを確認する。 |
| 棚卸作業 | 入力した売上と仕入れ値、補填した品物の金額やロス率を比較し、その日の利益を確認する。 |
| 補填数の入力 | 検品での不良、発注トラブルなどの緊急時に、補填した品物の数を入力する。 |
| 補填金額の入力 | 検品での不良、発注トラブルなどの緊急時に、補填した品物の金額を入力する。 |
| 廃棄数の入力 | 賞味期限切れで廃棄することになった品物の数を入力すると、その分のロス率が算出される。 |

**2-1-2 業務要件一覧**

|  |  |
| --- | --- |
| 業務名 | 説明 |
| 品物の登録 | 新しく管理したい品物の情報を入力し、登録を行う。 |
| 在庫管理 | 店舗にある在庫の管理を行う。現在の在庫数と前日の在庫数、および平均使用数などから、在庫がどれだけ必要になるかを判断し、日々の在庫数を更新する。 |
| 発注作業 | 在庫の数に応じて、発注したい品物の数を入力する。入力した日付と発注数、および届けられる予定日が記録される。入力した情報については、履歴機能を用いて後ほど確認を行う。 |
| 検品作業 | 届けられる予定の品物と、実際に届けられた品物に差異がないかを調べる。また、不良品や欠品があった場合は、不足する品物の数が表示される。 |
| 品物の補填 | 検品の際に不良品や欠品が混ざっていた場合、または発注トラブルで在庫が足りなくなった場合に、品物の補填を行う。 |
| 棚卸作業 | 倉庫内にある在庫の数と、その日に仕入れた数を確認する。売上と仕入れ値、補填金額やロス率などから、店舗の利益を確認する。 |

* 1. **機能要件**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機能名 | 要件 | | 内容 |
| 棚卸機能 | 在庫に関する以下の情報をメンテナンスできること。   * 現在の在庫数 * 在庫の不足分 * 当日の在庫消費数 → そのうちのロスはどの程度か | | 以下の情報を入力出来るようにする。   * 現在の在庫数 * ロス発生数   前日分の在庫数、当日届いた在庫数と照合し、在庫消費数を表示する。  最低限必要な在庫と照合し、不足分を表示する。 |
| 当日の売り上げを入力できること。 | | 以下の情報を入力できるようにする。   * 当日の売上 * 品物の廃棄数 * 補填数とその金額   売上から仕入れ値や補填金額、廃棄数から生じたロス率などを差し引いたものを、利益として表示する。 |
| 当日の原価率を計算できること。 | | 売上と在庫表示数、品物の情報から原価率を計算して表示する。 |
|  | | 在庫の平均使用数を計算できること。 | 曜日毎の在庫消費数のデータから計算を行い、一日に使用する在庫の平均使用数を表示する。 |
| 当日のロス率について計算できること。 | 全体の仕入れ値における、廃棄された品物の原価の割合を計算し、ロス率として表示する。 |
| 履歴機能 | 売上、在庫消費数、発注数が一定期間日毎に確認できること。 | | 前後一週間までの在庫数や発注数を確認することで、在庫の不足や二重発注を防ぐ。 |
| 検品機能 | その日に届く予定の品物が確認できること。 | | 発注した日付、および品物の情報と届けられる個数を確認できる。 |
| 届く予定の数と実際に届いた数が、品物単位で確認できること。 | | 予定数と実際の数に差異があった場合→不足数として表示する。 |
| 登録機能 | 品物に関する以下の情報をメンテナンス出来ること。   * 名称 * 単位 * 原価 * 賞味期限 * 発注の際の注意点 | | 登録した品物は、のちに品物一覧画面から確認・編集をすることが可能となる。 |
| 発注機能 | 発注に関する以下の情報をメンテナンス出来ること。   * 品物の発注数 | | 発注数を入力することで、以下の情報が記録されるようにする。   * 品物の発注数 * 品物の原価 * 発注した日付   →一度記録された情報は、履歴機能によってのちほど確認をできるようにする。 |
| 過去に発注した品物がいつ到着するかの予定が確認できること | | あくまでも目安であるため、実際の予定日とは異なる可能性がある  →手動で予定日を後ほど修正できるようにする。 |

**2-3非機能要件**

インフラ、セキュリティ面については、今回は考慮しない。また、在庫は1週間先まで管理できるよう設定する。